

日本共産党 庄原市政対策委員 藤木百合子

ご町内のみなさん。あけましておめでとう（おはよう）ございます。

日本共産党庄原市政対策委員の藤木百合子でございます。

日頃よりあたたかいご支援をいただき、本当にありがとうございます。

この場をお借りして、お訴えをさせていただきます。
大変お騒がせいたしますが、しばらくの間ご協力をお願いいたします。

私、藤木百合子は、今年4月の市議会議員選挙で、日本共産党の2議席目をめざしてがんばります。どうか、よろしくをお願いいたします。

私は、21歳のとき、「より良い看護をめざし、自ら考え、行動できる人になりたい」と日本共産党に入党し、看護師として、3人の子の母親として、40数年働いてきました。

いま、新型コロナのもとで、医療や福祉を削れるだけ削ってきた、冷たいアベ・スガ政治に、市民のみなさんから、悲鳴があがっています。

政治は、一握りの政治家にまかせておけばよい、ということでは、けっして、よくなりません。

私たち、市民1人ひとりが、お互いに手をつないで、よりよい未来をつくっていく。それが、本来の、政治のあり方ではないでしょうか。

私は、1人の女性、1人の市民として、「性別による差別のない、ジェンダー平等社会を実現してほしい」、「医療や、福祉を、もっと充実してほしい」という、みなさんの願いを、しっかり受けとめ、私の、これまでの経験を生かし、その実現に、全力でとりくんでいきます。

みなさんの願いや思いを、私、藤木百合子まで、遠慮なくお寄せください。
その願いや思いに応え、現職の谷口隆明さんと力をあわせ、一生懸命がんばります。

どうか、みなさんの、あたたかいお力添えを、日本共産党と私、藤木百合子に、お寄せいただきますよう、心からお願いいたしまして、お訴えとさせていただきます。

ご清聴いただき、ありがとうございました。最後まで、よろしくをお願いいたします。